



みんなの図書館

—利用者から創り手へ、共に創る図書館—



図書館サポーターによる親子企画の様子

■協働パートナーの種別

NPO	地縁	社協	学校・ 大学	企業	行政	その他
-----	----	----	-----------	----	----	-----

■事業運営団体

・四街道市立図書館

■協働パートナー

・岩渕薬品(株) ・図書館サポーターズ
・(一社)よつかいどう野外保育さとのたね
・千葉大学予防医学センター ・日替わり café りんごの樹
・蔵の図書館 ・四街道市地域包括支援センター
・NPO 法人地域の医療を明るくする会 他 計 12 団体

■事業費

約 35 万円

■資金調達手段

・助成金 ・運営団体負担 ・その他

事業概要

図書館を「本を借りる場所」から、地域の人々が出会い、支え合う共創の場へと再定義し、社会に開かれた新たな公共空間として位置づけ直すことを目指します。世代や立場の異なる人々が自然に関わり合う中で地域課題が可視化され、解決への糸口が日常の中に生まれていきます。市民団体や企業など多様な主体の参画により、持続可能な地域づくりを推進します。

協働までの経緯

地域のつながりの希薄化や図書館の利用減少といった課題の背景には、人と人との関係性における問題が共通して存在していました。日々の利用者との対話や現場での気づきを通じて、図書館のあり方を問い直す必要性が浮かび上がり、誰もが気兼ねなく過ごせる場を目指して、市民等と共に「図書館の使い方」を考える協働の一步を踏み出しました。

主な事業内容(年間スケジュール等)

- ① 赤ちゃん(親子)向け取組(通年)
- ② 小中高生向け取組(通年)
- ③ 成人～高齢者向け取組(通年)

※上記の他、随時、連携団体と協働した図書館の魅力づくり活動を行っています。

主な協働パートナーとの役割分担

<行政>

地域連携のハブを担い、導線や広報を通じた場づくり

<企業・民間>

物資・人材提供や空間演出を通じた地域貢献等

<NPO・市民団体>

企画・運営に深く関わり、現場の知恵と実行力で事業を支える中核的役割。

<大学>

評価・分析の視点からの支援と社会実装への橋渡し

協働事業によって生まれた成果

図書館との協働を通じて、各団体は活動の幅や質を高め、地域との接点を広げることができました。企業や大学は社会貢献や実践研究の場を、福祉団体は就労や創作の成果を地域で活かす機会を得るなど、それぞれが図書館を通じて役割と価値を再確認し、持続的な成長と連携の土台を築いています。

今後力を入れていきたいこと

定着した取組の継続とともに、「子育て」や「健康」などを軸に多様な協働を広げ、図書館を地域課題に応える拠点として育てていきます。



コラボのコツ!!

★コツ1 役割分担は一律にしない

★コツ2 “ちょうどよさ”を大切にする

★コツ3 利用者から担い手へつなぐ

コツに関するコメント

本事業では、協働する団体等の特性や強みに応じて役割分担を柔軟に調整し、形式にとらわれない関係性を築いてきました。参加者が無理なく関われる“ちょうどよさ”を意識し、対象や内容に応じた運営方法や導線を工夫したことも成功の鍵です。そして何より、利用者が自然と担い手へと移行できる仕組みが育まれたことが、協働を一過性のものにせず、図書館を「市民がつくる場」へと変化させる原動力となっています。こうした積み重ねが、図書館の未来を支えています。

協働事例プロフィール

【活動開始年】 令和5年4月 【活動のPR手法】 <https://www.library.yotsukaido.chiba.jp/> (公式HP)

【この事業で活用した補助金】

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】 ケーブルネット 296(多数)、ちいき新聞(多数)

【問い合わせ先】 電話番号：043-423-6443

メールアドレス：ytoshokan@city.yotsukaido.chiba.jp